

あいさつ

～ニューノーマル時代の地域医療文化経済活動と共生～

国際的(Global)視点から養父市の地域(Local)医療文化経済活動を提案し挑戦する公益財団法人「医療文化経済グローバル(Glocal)研究所」創立一周年を迎え、共に活動いただいた養父市民の皆さんのご理解とご支援に心から感謝します。また、更なる継続した健康加齢への挑戦を提案し、共生社会の充実を推進しましょう。

グローバル研究所が最初に提案したプロジェクトは、少子高齢化社会の進む我国における地域活動で取り組むべき象徴的課題として、「認知症との共生、予防と先進医療の街、養父市」実現プロジェクトです。



一昨年 12月には、これまで対症療法しかなかった認知症の進行を遅延させるアミロイドβ抗体治療が欧米と我国で承認され、また、認知症の発症を促進する 14種のリスクファクター(危険因子)が明らかになりました。これまで不治の病として恐れられ、社会的負担にもなっていた認知症の予防と先進治療が飛躍的進歩のスタートを切る節目の時代を迎えることになったのです。同時に養父市の基幹病院である公立八鹿病院院長に、当研究所の主任研究員でもある西村正樹滋賀医科大学名誉教授(養父市出身)が就任されました。西村先生は、我国の認知症成因研究の第一人者の一人に数えられる臨床医学者(Physician-Scientist)です。更に、社会的処方^①の我国の指導者のお一人の京都大学社会医学系教授の近藤尚己先生にも主任研究員にご就任いただき、西村先生の指導される認知症に対する医学的処方と近藤先生の指導される社会的処方の両輪が揃い、更には認知症のリスクファクターが集積する生活習慣病領域(肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、運動不足、過剰飲酒など)の臨床医学者である中尾が連携する医療文化経済グローバル研究所の医療医学部門は我国でも稀な調査研究体制が実現しました。更に兵庫県立芸術文化観光専門職大学から藤野一夫副学長と古賀弥生教授の主任研究員就任を得て、文化芸術面での提案や活動も充実してきました。特に藤野先生はドイツの研究者との長年の交流の下に我国の少子高齢化モデルとも解釈できるドイツにおける地域医療文化経済活動を参考にしての提案や活動をいただいています。地域経済部門には地域経済の権威の公益財団法人都市化研究公室理事長の光多長温先生も主任研究員として参加いただけてきました。昨年 12月に退任されましたが、今後もアドバイスをいただけたと考えています。

今後、先進的・指導的活動を続けている養父市関係者や養父市の本研究所活動の理解者に主任研究員や研究員にご就任いただき、定例会議による議論やそれを踏まえての養父市への提案、市民公開講座「養」(地域医療文化芸術経済活動紹介と教育講演)、中学一年生を対象とした中学生講座「養」(「郷里の先輩と夢を語る」などのテーマ)を更に充実させたいと考えています。

医療文化経済グローバル研究所創立一周年に際し、「我国で認知症の最も少ない街、そして認知症との共生が進んだ街、養父市」を目指して、養父市民の皆さんと一緒にニューノーマル時代の地域医療文化経済活動の充実挑戦しましょう。

公益財団法人医療文化経済グローバル研究所 代表理事・研究所所長 なかお 中尾 かずわ 一和



公益財団法人
医療文化経済グローバル研究所
Glocal Institute of Medicine, Culture and Economy

(公財)医療文化経済グローバル研究所は、医療、文化・芸術、経済分野の連携により、健康加齢を促進し、市民の幸福度の向上に向けた調査・研究・提言・支援等の取組を行い、市民が幸福に暮らしていける持続可能な地域共生社会の創造に寄与することを目的に市が設立した法人です。



<https://mce.or.jp>

お問合せ先／〒667-0021 兵庫県養父市八鹿町八鹿1685-2
やぶパートナーズ株式会社2階
TEL/FAX: 079-660-7478

医療文化経済グローバル研究所 概念図

市民が幸福に暮らしていける
持続可能な地域共生社会の創造に向けて



養父市まちづくりのニューノーマルの創出

健康加齢(ヘルシーエイジング)を促進し
幸福(ウェルビーイング)を享受

養父市(地方)から
全国・世界に発信

第7回 市民講座「^{よう}養」

設立
1周年

みんなで幸福な生き方
Well Being を考える！

公益財団法人
医療文化経済グローバル研究所

記念講演会

医療・健康 ✕ 文化・芸術 ✕ 経済・社会

日時

2025年3月15日 土 13:30～16:00

場所

やぶ市民交流広場 YBファブホール

共 催 ／ 公益財団法人 医療文化経済グローバル研究所 養父市

プログラム

13:30

1. オープニング

合唱 コールはるかぜ

13:50

2. あいさつとメッセージ

認知症(生活習慣病)養生訓
～人生100年時代の健康加齢～

代表理事・研究所所長 中尾 一和 (京都大学名誉教授、
京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンター特任教授)

14:05

3. 記念講演 ①

プロダクティブエイジングが導く、「三方良し」のまちづくり

講師 / 藤原 佳典 (東京都健康長寿医療センター研究所 副所長)

座長 / 西村 正樹 (理事・主任研究員/公立八鹿病院院長、滋賀医科大学名誉教授)

15:00

4. アトラクション

親子ピアノ連弾 田村 太郎 ・ 田村 奏太

15:15

5. 記念講演 ②

ウェルビーイング(幸福・健康)を高める方法
～個人と社会にできること～

講師 / 近藤 克則 (千葉大学名誉教授・グランドフェロー
千葉大学 予防医学センター 健康まちづくり共同研究部門 特任教授
財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会、医療経済研究機構 研究部長)

座長 / 近藤 尚己 (理事・主任研究員
京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻社会疫学分野主任教授)

16:00

6. 閉会

※タイムテーブルはあくまで目安となります。時間の前後はございますのでご了承ください。

同
時
開
催

ヘルスチェック体験コーナー

大会議室

・12:00～13:30頃 ・16:00～16:30頃

粗品進呈

- ▶ 指先、手のひらで簡単測定 AGEsセンサ測定/血管年齢測定/野菜摂取充足度測定 (協力: 明治安田生命保険相互会社姫路支社)
- ▶ 養父市が構築したデジタルツールの体験 ポジティブヘルスで生活振り返りチェック/認知機能チェック電話で脳の健康チェック

見る人の心を魅了するアート作品の展示コーナー

- ▶ がっせえアート特別展示 ロビー
- ▶ 木彫フォークアート特別展示 (3/11～3/15迄) 展示室

どなたでも
参加できます

講師のご紹介

記念講演 ①



藤原 佳典

北海道大学医学部卒、京都大学大学院医学研究科修了(医学博士)。
京都大学病院老年科などを経て2000年東京都老人総合研究所研究員、2009年東京都健康長寿医療センター研究所研究部長、2020年より東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター・センター長兼務、2023年より現職。多世代共生・世代間交流の地域づくりの視点から、高齢者の介護予防・フレイル予防について研究している。養父市健康調査にもかかわる。

記念講演 ②



近藤 克則

1983年千葉大学医学部卒業、東京大学医学部付属病院リハビリテーション部医員、船橋二和(ふたわ)病院リハビリテーション科科長などを経て、1997年日本福祉大学助教授。University of Kent at Canterbury (イギリス) 客員研究員(2000-2001)、日本福祉大学教授を経て、2014年から千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門教授。2016年から国立長寿医療研究センター研究所老年学・社会科学研究センター老年学評価研究部長を併任。2018年から2024年一般社団法人日本老年学的評価研究機構代表理事(併任)、2024年から現職。

出演者のご紹介

合唱 コールはるかぜ

1972年に結成、以来週1回の練習を休むことなく活動し、現在30名のメンバーが在籍。年に1回の自主演奏会のほか、八鹿文化祭、養父市合唱祭、但馬合唱祭などで演奏しており、今年は9月28日(日)にやぶ市民交流広場ホールで第46回コールはるかぜ演奏会を開催します。

親子ピアノ連弾 田村太郎・田村奏太

養父市在住。男子中学生と父親ならではの、仲良くほっこり、時に喧嘩しながら取り組むピアノデュオ。力強さと繊細さを持つ音楽を求めて今年で結成7年目。息のあった変幻自在な演奏にチャレンジします。PIARAピアノコンクール全国大会「親子デュオの部」に出場し第一位受賞。